

「見える化」から「見える力」「解析」へ!

キタック

KITAC BIM/CIM

2017年「キタックCIM」を導入し、
2019年令和新時代に向け、
「キタックBIM/CIM2019」にシンカする

BIM/CIM・・・計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入し、施工、維持管理の各段階においても3次元モデルに連携・発展させ、情報を共有することにより、一連の建設生産システムの効率化・高度化を図ることを目的とした取り組み。

キタックBIM/CIMの取り組み

キタックの調査・設計アプローチをBIM/CIM化することで高度化・効率化し、成果品質及び生産性の向上を目指すもの。

国土交通省の取り組み

国土交通省では、「生産性革命プロジェクト」の一環として、i-Constructionの施策を支援するBIM/CIMを推進。

業務内容

① 新設関連調査設計業務

新設に関連する調査設計業務は、基本的に3次元モデルを作成。

② 維持管理及び解析等業務

維持管理や解析などの業務は、BIM/CIMモデル活用を検討。

③ 国土交通省 CIM 業務

国土交通省CIM業務受注へ向けて体制づくりを行う。



キタックの BIM/CIM 活用基本方針

STEP1:2017

CIMの活用効果が見込まれる業務を抽出し、CIMの導入を試行する(2017年開始)

CIM活用の試行

- 各部門におけるCIM導入の効果を検討
- CIM活用対象業務の抽出
- 受注者希望型によるCIM活用の試行

STEP2:2019

受注者希望型の業務、プロポーザル等でBIM/CIM活用を提案する(2019年現在)

BIM/CIM
活用の標準化

- 基準に準拠したBIM/CIMモデルの作成・活用
- 得意分野におけるBIM/CIM活用の拡大・PR
- 点検・維持管理分野及び解析分野での試行

STEP3:2020

施設点検、維持管理業務におけるBIM/CIMデータベースの構築プラン策定(2020年までを目処)

BIM/CIM
業務の受注

- BIM/CIM活用の定着
- 点検・維持管理分野での適用提案・PR
- VRと組み合わせた計画設計、モデル作成技術の拡大

概ね2ヶ年

概ね1ヶ年